

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 3 月 26 日

事業所名 聖ヨハネ子どもセンターばぼらす

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		お子様の発達や遊びに合わせて十分に満足いく遊びが行えるように、遊具の配置を工夫し、適切なスペースの確保に努めています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		様々な方向から親子支援が行えるように、多職種の配置を行っています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		怪我の無いように、室内の段差や部屋の角などの危険箇所への工夫や注意喚起を心がけています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		療育終了後には必ずカンファレンスを行い、改善点について様々な視点からの意見を大事にしながら話し合っています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者からの聞き取りやご意見を参考にさせて頂きながら、業務改善につなげていきます。	評価表の記入にご協力を頂き、独自のアンケートの実施や保護者の方との面談等からご意見をより多く伺いできるように努めます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公表しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		外部評価を行っておりません。今後検討を行います。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		人権や発達や虐待防止への理解が深まるように、定期的に職員研修を実施しています。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者から聞き取りをし、観察を丁寧に行い、発達検査の結果等から支援計画を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		発達検査を実施し、丁寧にアセスメントを行っています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		各職種の意見を大切にしながら様々な視点から計画を作成しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		お子様の発達や遊びの様子に合わせた粗大運動や微細課題を考えるようにし、固定化しないように取り組んでいます。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		1年を通して必要な内容での支援を行っています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している		○	お子様の発達や様子を観察し状況に応じ個別療育を中心として支援計画を作成しています。	お子様の発達や状況に応じた支援方法を検討し、計画を作成していきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		療育前には必ず支援内容や各職種の役割を確認し、適切な支援が行えるように取り組んでいます。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日療育終了後にカンファレンスを行い、お子様の様子や各職種からの意見を共有し次の療育へと繋げていきます。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		より良い支援が提供できるように個々の支援や様子を記録しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にモニタリングを行い、会議等で支援計画の見直しをしています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○				

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当の職員が参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		必要な状況に応じ、学校と連携し支援を行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現在医療的ケアの必要な方の御利用はありませんが、必要に応じて検討させて頂き、対応していきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		保護者のご要望に応じ各機関と電話やメール等で連携を取らせていただいています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		当事業所では小学校低学年までを対象としているため、該当者はいません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		必要に応じて連携を行っています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		現在は交流の場は設けていません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		現在は参加しておりません。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		保護者の方からお子さまの家庭や地域での様子をお聞きし、発達や課題について共に考えて行けるようお話しさせて頂く時間を大事にしています。	
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			現在プログラムとしては行っておりませんが、ご要望に応じて保護者の方との面談を実施しています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明させていただき、支援内容についても丁寧な説明を心がけています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		定期的に面談を実施していますが、保護者の方からのご要望に応じて相談も随時しています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		現在保護者会等は実施していません。必要に応じて今後検討させていただきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		契約時に苦情窓口についてお伝えさせて頂いています。苦情がある場合も迅速に対応していきます。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		現在会報等の発行はしていませんが、療育内容や予定について口頭でのお知らせや掲示を行い分かりやすいように発信できるように取り組んでいきます。
	35	個人情報に十分注意している	○		鍵付きの書庫に保管する等、管理を徹底しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		必要に応じて対応しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		地域住民の方を招待する場は設けておりません。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	緊急、防犯、感染症マニュアルを作成しています。	保護者の方にマニュアルを周知していただけるよう取り組んでいきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	定期的に訓練を行っています。	訓練の実施に加え、災害時の避難方法についての啓示も行うよう努めます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	定期的に研修を行い適切な対応を行っています。	虐待防止委員会を定期的に実施し、予防に努めています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	発達や特性について把握し、身体拘束について保護者と十分にお話をさせていただいたうえで、拘束を行う必要がないような支援方法を検討し適切な支援を行っています。	身体拘束適正委員会を設置し、適正化に取り組んでいます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		現在食事の提供は行っておりませんが、保護者の方から十分に聞き取りをおこない、必要に応じて対応していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	ヒヤリハットがあれば必ず個人記録と専用のノートに記入し、職員全員で問題点と改善点を検討し、同じことの無いよう心がけています。	